

男女共同参画フェスタより

フィルム上映会 開催!

日時

7/11(月) 16:20~18:30

託児付き

託児希望の方は7/1(金)迄にお申し込みください(申込は裏面参照)

場所

山形大学工学部
4号館1階 中示範A教室

LGBTサークルとの
フリートークあり!

作品1 16:20開始(75分上映)

「ぼくらの未来」 / 飯塚花笑 監督

ストーリー

性同一性障害の優は男として生きられない辛さを抱えて暮らしている。ある日、優が想いを寄せる女の子、真澄との手紙をクラスの生徒に読まれてしまい、そこから優へのからかい、嫌がらせはエスカレートしてゆく。そしてついに優の恋も実らぬまま終わりを迎えてしまうのだ。優はそんな現実絶望する一方で幼なじみの悠や良樹。父親とのやり取りを通して全てを受入れて生きていこうと静かに決意する...



映画ワンシーン

作品2 18時開始(5分パフォーマンス上映)

「レズビアンフリークスの誕生」 / ヒノヒロコ制作

上映内容

カミングアウトとは、人に知られたくないことを公表するという意味がある。本作品は同性愛者のカミングアウトとはどういうものなのかを嘔吐という決死のパフォーマンスで相手に訴え続けている作品である。作中、真っ白なウェディングドレスの少女たちは、自身のセクシャリティを公にできないまま、望まない結婚をする同性愛者の女性たちを指している。彼女たちに対し、嘔吐という行為をカミングアウトのメタファーとして用い、ドラッグクイーンの様相で怒るヒノの姿を通し、カミングアウトとは、ありのままの自分とは何かを人々に問いかける。



作品



飯塚花笑 プロフィール

1990年生まれ。群馬県前橋市出身。東北芸術工科大学デザイン工学部映像学科卒業。大学在学中は映画監督の根岸吉太郎、前田哲、脚本家の加藤正人に学ぶ。自らの体験を元に制作した処女作『僕らの未来』はぴあフィルムフェスティバル PFF アワード2011にて審査員特別賞を受賞。

国内の映画祭のみならず、バンクーバー国際映画祭、ロンドンレズ&ゲイ映画祭等、国外でも高い評価を受けた。続いて二作目の長編『青し時雨』はあきた十文字映画祭、TAMA NEW WAVE、高崎映画祭等で上映。大学卒業後は1年間映写技師をし、演出部見習いとして廣木隆一監督作『ストロボエッジ』（2015）に参加、また『鏡の中の笑顔たち』（2015）、『風のたより』（2015）の予告編を担当した。現在は、沖縄国際映画祭でプレミア上映を行った監督作、『海へゆく話』（2016）の公開待機中にある。



ヒノヒロコ プロフィール

アーティスト・文筆家
1992年生まれ宮城県出身
東北芸術工科大学大学院修士課程修了

- 2015.2 現在写真家インベカフリ★被写体「ミニスカートがやめられない」
- 2015.4 東京レインボープライドパレードパフォーマンス部門出演
朝日新聞「性的少数者、理解へのアート」掲載
- 2015.8 日本経済新聞「LGBTアート、社会問う」掲載
- 2016.2 朝日新聞「性的少数者の日常、皆さんと比べて」
山形新聞「性的少数者、等身大の姿」
読売新聞「性的少数者「普通」の日常」 掲載
YBCテレビ「news every.」他NHKテレビ内に出演
- 2016.3 東北芸術工科大学大学院修了制作展優秀賞受賞
峰なゆか「おんなくどき飯」出演

申込締切 7/1(金)

託児申込書

FAX・メール・お電話にて受け付けます

お名前	
ご住所	
電話番号	
所属	
託児希望の場合 (※生後6か月～ 就学前の乳幼児)	お子様のお名前： 年齢： 歳 月 性別： アレルギーの有無：

電話およびEメールでも受け付けます。
ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、他には一切使用しません。

お問合せ／申し込み

ダイバーシティ環境実現に向けて～山形大学3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」～

国立大学法人山形大学 男女共同参画推進室米沢分室

TEL:0238-26-3356/3359 FAX:0238-26-3398

E-MAIL: y-danjoyz@jm.kj.yamagata-u.ac.jp